

気づいていますか？身近な教会と人権のこと

教会生活と人権、部落解放運動と法制度から考える 個人情報保護法 / 情報プラットフォーム法 / 公正採用

「神の形の回復 (Restoration of God's Image)」——『この最も小さい者にしたことは、わたしにしたことだ』 (マタイ 25:40) 聖書は「人は神の似姿として創造され、等しく尊い存在である」と教えています。

しかし、教会生活の中に無意識の偏見が潜んではいないでしょうか。本セミナーでは、キリスト者としての社会的責任 (SR)・コンプライアンス (法令遵守) を見つめ直し、部落解放運動の歴史と現代の人権法制の視点から、部落差別の現実と教会やキリスト者と人権について掘り下げて考えます。

現代の人権法制度と私たちの教会生活の課題

委員会では部落差別解消へ年 4 回のフィールドワークを開き、と畜や皮革生産への偏見を除去し部落を低位に見る認識を変えることに努めてきました。しかし、部落への偏見をとり認識を変えるだけでは部落差別をなくすことはできません。具体的に部落差別をなくす教育・啓発が必要です。委員会では具体的に 2 年前から 6 月の東京都の就職差別解消月間の月間行事・シンポジウムの賛同団体となって取り組んできました。公正採用の社会環境を整えることは部落差別をなくす社会環境を整えることです。セミナーでは、教会生活や教会経営、牧会と人権は不可分である現実を個人情報保護法の要配慮個人情報や情報プラットフォーム法の厳罰化、公正採用などの人権法を軸に聖書理解も含め教会と人権の課題を考えます。

日時 7月4日(土)13～15時

場所 NCC 事務所フリースペース (東京都新宿区西早稲田 2-3-18) とオンライン (Zoom 会議室) 会場
オンラインとも定員 20 名オンライン参加の方は、前日までにオンライン情報をお知らせします。

交通 ①最寄駅 東西線早稲田駅 ②高田馬場駅からバス「西早稲田」降車

テーマ 教会生活と人権、キリスト教教育、部落解放運動と法制度から考える
個人情報保護法 / 情報プラットフォーム法 / 公正採用

講演 「公正採用の背景と私たちの暮らし」

松浦 利貞 (東京都同和教育研究協議会元事務局長、東日本部落解放研究所副理事長)

「個人情報保護と教会生活」水野 松男 (NCC 部落差別問題委員会)

参加費 無料

申込・問い合わせ NCC 部落差別問題委員会へ名前、所属、住所、電話、メール、オンラインの可否を明記してメールで nccbdic@gmail.com へお申し込みください。定員 20 人 (先着申込順)

対象 キリスト者、教職者、部落差別をなくす人権課題に関心のある方

主催：日本キリスト教協議会 (NCC) 部落差別問題委員会

「人権一般」に留まらない、部落差別の固有性を重視した取り組みを行っています。